

# 骨子案 山梨県営住宅設置及び管理条例(改正案)

関係政省令 公営住宅法施行令・公営住宅等整備基準(平成23年国土交通省令第103号)

## 入居収入基準(月額)

区分	上限額(政令)	参酌基準	現行	改正方針
本来階層	259千円	158千円	158千円	本県の実情に国の政令と異なる特殊性はないことから参酌すべき基準を県の基準とする。
裁量階層	259千円	—	214千円	現行基準の運用において特段の問題がないことから現行どおりとする。

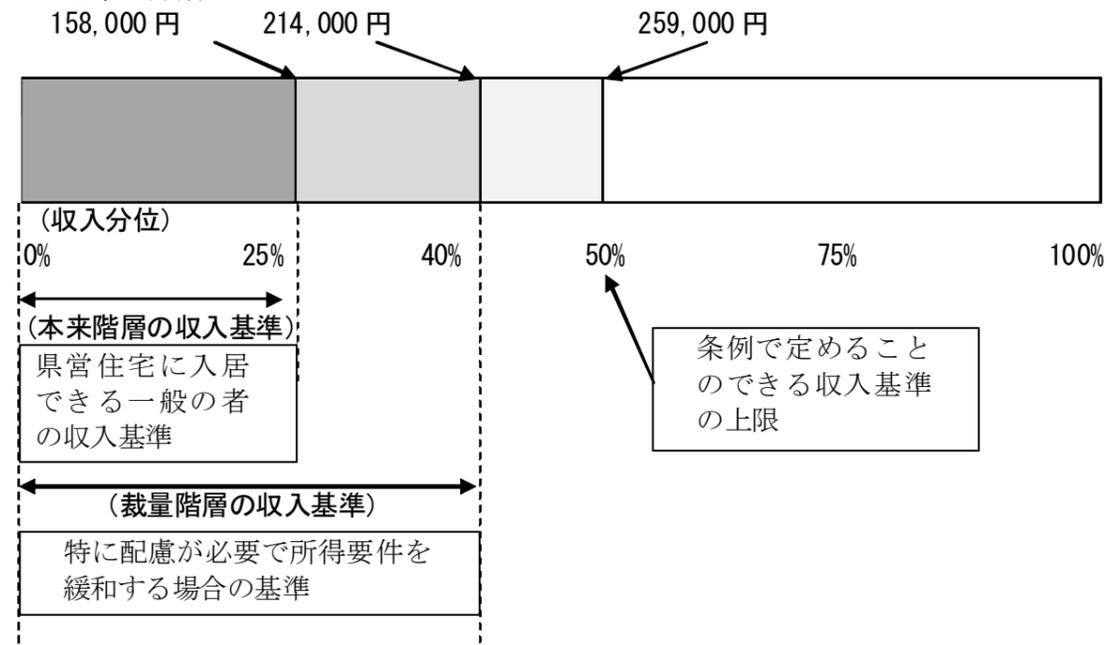
## 裁量階層の範囲

項目	参酌基準	現行(公営住宅法施行令)	改正方針(条例)
裁量階層の対象者	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者世帯</li> <li>・ハンセン病療養所入所世帯</li> <li>・高齢者世帯(60歳以上の世帯等)</li> <li>・子育て世帯(小学校就学前の子のいる世帯)</li> </ul>	現行基準の運用において特段の問題がないことから現行どおりとする。

### <解説>

- ※「本来階層」とは、公営住宅が本来入居対象とする所得の範囲にある者をいう。
- ※「裁量階層」とは、本来階層の者より高い所得を得ているが、特に居住の安定を図る必要がある者をいう。
  - ・入居者又は同居者に障害者、ハンセン病療養所入所者、戦傷病者等がいる世帯
  - ・高齢者(60歳以上)のみ若しくは高齢者と18歳未満の者で構成される世帯
  - ・同居者に小学校就学前の子のいる世帯

### ※ 収入基準(月額)のイメージ



## 整備基準

	参酌すべき基準(=現行) (平成23年国土交通省令第103号「公営住宅等整備基準」)	改正方針	
総則	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;趣旨及び配慮事項&gt;                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・健全な地域社会の形成に配慮する</li> <li>・良好な居住環境を確保する</li> <li>・建設費等の縮減に配慮する</li> </ul> </li> </ul>	本県では、省令の基準と異なる、あるいは上回る基準とすべき特段の事情がなく、これまでの運用でも特に支障は生じていないことから、国土交通省令の参酌すべき基準を県の基準とする。	
敷地の基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;敷地の位置及び安全等&gt;                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・居住環境の阻害が懸念される土地はさける</li> <li>・通勤、通学等の日常生活の利便を考慮する</li> <li>・必要に応じ、地盤改良等の措置を講ずる</li> </ul> </li> </ul>		
公営住宅の基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;住棟等の基準&gt;                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・日照、通風、採光、開放性及びプライバシーの確保、災害の防止等に考慮した配置とする</li> </ul> </li> <li>&lt;防火、避難、防犯&gt;                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・防火、避難、防犯のための措置を講ずる</li> </ul> </li> <li>&lt;温熱環境(省エネ)&gt;                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・外壁、窓等の熱の損失の防止する</li> <li>・エネルギーの使用の合理化を図るための措置を講ずる</li> </ul> </li> <li>&lt;遮音性能&gt;                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・床及び外壁の開口部に、遮音性能の確保を適切に図るための措置を講ずる</li> </ul> </li> <li>&lt;劣化の軽減&gt;                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・構造耐力上主要な部分等には、当該部分の劣化の軽減を適切に図るための措置を講ずる</li> </ul> </li> <li>&lt;維持管理への配慮&gt;                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・給水、排水及びガスの配管には、構造耐力上主要な部分に影響を及ぼさずに点検及び補修を行うための措置を講ずる</li> </ul> </li> <li>&lt;住宅の規模&gt;                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・一戸の床面積の合計は、25平方メートル以上とする</li> </ul> </li> <li>&lt;住宅の設備&gt;                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・台所、水洗便所、洗面設備、浴室、テレビ受信用設備、電話配線を設ける</li> </ul> </li> <li>&lt;空気環境(シックハウス)&gt;                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・化学物質の発散による衛生上の支障の防止を図るための措置を講ずる</li> </ul> </li> <li>&lt;高齢者等への配慮(住戸内の各部)&gt;                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・移動の利便性、安全性の確保を図るための措置を講ずる</li> <li>・高齢者等が日常生活を支障なく営むための措置を講ずる</li> </ul> </li> <li>&lt;高齢者等への配慮(共用部分)&gt;                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・移動の利便性及び安全性の確保を適切に図るための措置を講ずる</li> </ul> </li> <li>&lt;附帯施設&gt;                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車置場、物置、ごみ置場等の附帯施設を設け、入居者の衛生、利便等及び良好な居住環境の確保に配慮する</li> </ul> </li> </ul>		
	共同施設の基準		<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;児童遊園&gt;                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者の利便及び児童等の安全を確保した適切なものとする</li> </ul> </li> <li>&lt;集会所&gt;                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者の利便を確保した適切なものとする</li> </ul> </li> <li>&lt;広場及び緑地&gt;                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・良好な居住環境の維持増進に資するように考慮する</li> </ul> </li> <li>&lt;通路&gt;                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活の利便、通行の安全、災害の防止、環境の保全等に支障ない規模及び構造で合理的に配置されたものとする</li> </ul> </li> <li>&lt;通路における階段&gt;                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者等の通行の安全に配慮し、必要な補助手すり又は傾斜路を設ける</li> </ul> </li> </ul>